

# 千里阪急ホテル 宿泊約款

## (適用範囲)

第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。)又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

## (宿泊契約の申込み)

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- 1) 宿泊者名
  - 2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - 3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
  - 4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

## (宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金を充当し、第6条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限り、

## (申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## (施設における感染防止対策への協力の求め)

第4条の2 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

## (宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
  - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
  - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
  - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客又は利用客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。(豊中市旅館業法施行条例第9条の規定に該当するとき。)

## (宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

## (宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

## (当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に 宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
  - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
  - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
  - (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
  - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (8) 宿泊客が、他の宿泊客又は利用客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。(豊中市旅館業法施行条例第9条の規定に該当するとき。)
  - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

## (宿泊契約解除の説明)

第7条の2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

## (宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
  - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
  - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

## (客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - (1) 午後3時までは、室料の30%
  - (2) 午後6時までは、室料の50%
  - (3) 午後6時すぎは、室料の全額

## (利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めた利用規則に従っていただきます。

## (営業時間等)

第11条 当ホテルの施設等の営業日及び営業時間は、客室内備付けのインフォメーション、当ホテル内の掲示等で案内するものとします。ただし、やむを得ない場合は、これらを臨時に変更する場合があります。この場合、当ホテルは、適切な方法により周知するものとします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 前項の宿泊料金等の支払いも、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。

- ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(免責事項)

第14条 当ホテル内からのコンピューター通信(インターネット接続等をいいます)のご利用に当たりましては、利用者ご自身の責任にて行うものいたします。

コンピューター通信の結果(通信速度の低下、中断、不通等を含みます)により、利用者がいかなる損害を受けた場合におかれましても、当ホテルは、一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当たり当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じたときは、その損害を賠償していただきます。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第15条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第16条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、

当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれをを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

- 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。

ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第17条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第18条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで

負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第19条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料(室料) ②サービス料(①×10%)
	追加料金	③追加飲食(①に含まれるものを除く) ④サービス料(③×10%)
	税金	イ、消費税 ロ、宿泊税

備考1 基本宿泊料はフロントに掲示する料金表によります。

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

		契約を解除の通知を受けた日	不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	契約申込人数	7名まで	100%	80%	20%	—	—
	団体	8名～99名まで	100%	80%	20%	10%	—
		100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を收受します。

3. 団体客(8名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については違約金はいただきません。

千里阪急ホテル 利用規則

ホテルの公共性と安全性を確保し、かつ快適にご滞在いただくため、当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条にもとづいて、下記の規則をおまもりいただくようになっております。

この規則で定められた事項をおまもりいただけないときは、宿泊約款第7条により、やむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申しあげ、

かつ第17条により責任をおとりいただくこともございますので特にご注意くださいようお願い申し上げます。

(火災予防上おまもりいただきたい事項について)

- ホテル内に火器などを持ち込みご使用にならないください。
- 当ホテルの客室は全室禁煙です。館内の決められた場所以外での喫煙(電子タバコ、加熱式タバコ等による喫煙を含む)はご遠慮下さい。客室内で煙草臭が確認されるなど、客室での喫煙(電子タバコ、加熱式タバコ等による喫煙を含む)が判明した場合、消臭作業や寝具、カーテン、壁紙等のクリーニング、補修などにかかる費用(30,000円)を申し受けます。
- その他、火災の原因になるような行為をなさらないください。

(保安上おまもりいただきたい事項について)

- ご滞在中、お部屋から出られます際は、施錠をご確認ください。また館外へお出かけの際は、フロントに鍵をお預けくださいますようお願い申し上げます。
- フロントへお預けになりました鍵をお受け取りの際は、必ず宿泊確認書をご提示ください。
- ご入室中や特にご就寝の際は、必ずドアの内鍵とドアチェーンをおかけください。来訪者があったときは、不用意に開扉なさらず、必ずドアスコープをご確認ください。万一、不審者と思われる場合は、お電話でフロントへご連絡ください。
- ご訪問客と客室内でのご面会はご遠慮ください。

(お支払いについて)

- ご宿泊の際、ご到着時にお預り金を申し受けることがございますのでご了承ください。
- ご宿泊中、ご請求申し上げます場合はご面倒ながらそのつどお支払いください。
- お部屋から館外へ電話をお掛けになる場合、施設利用料を加算させていただきますのでご了承ください。

(ご貴重品、お預かり品のお取扱いについて)

- ご滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けいただけますようお願い申し上げます。
- お忘れ物、遺失物の処置は法令にもとづいてお取扱いさせていただきます。
- お預り物の保管期間は、原則として下記の通りお取扱いさせていただきます。  
クロークルームでのお預り物 7日  
お預りのお洗濯物 6ヵ月

(おやめいただきたい行為について)

- ホテル内に、他のお客様のご迷惑になるようなものをお持込みにならないください。  
(ア)犬、猫、小鳥その他の動物、ペット類(補助犬は除く)  
(イ)不潔なもの、悪臭を発生するもの  
(ウ)はなはだしく多量な物品  
(エ)火薬や揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの  
(オ)適法に所持を許可されていない銃砲、刀剣類など
- ホテル内で、とばくや風紀、治安を乱すような行為をなさらないください。
- 高声、放歌や喧嘩な行為、またテレビやラジオの音量を大きくするなど、他人に嫌悪感を与えたり迷惑をかけたりなさらぬでください。
- ホテル内の施設、備品を目的以外の用途に使用なさらぬでください。
- ホテルの建築物や設備に異物をとりつけたり、現状を変更するような加工をなさらぬでください。
- ホテルの外観を損うような物を窓側に陳列なさらぬでください。
- 客室やロビーを事務所、営業所など宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
- ホテル内で、他のお客様に広告、宣伝物を配布したり物品の販売をなさらぬでください。
- 外来者を室内に入れ、客室内の設備、備品などを使用させないでください。
- 廊下やロビーに所持品を放置なさらぬでください。
- ホテル外から、飲食物の出前をおとりにならないでください。

(Scope of Application)

- Article 1. Accommodation contracts and related agreements to be concluded between the hotel and the guest shall be subject to these Terms and Conditions, and all matters not provided herein shall be subject to the laws and regulations, etc. (meaning laws and regulations or those based on laws and regulations; the same shall apply hereinafter) or generally accepted practices.
2. In the event that the hotel has entered into a special agreement to the extent that such special agreement does not violate any laws and regulations and generally accepted practices, the special agreement shall prevail, notwithstanding the preceding paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. A person who intends to make an application for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following information:

- (1) Name of the guest(s)
  - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival
  - (3) Accommodation fee (in principle, based on the basic accommodation fee listed in Attached Table 1)
  - (4) Other information deemed necessary by the hotel
2. When the guest requests extension of the accommodation beyond the date(s) in Item (2) of the preceding Paragraph during his/her stay, the hotel shall process it as an application for a new accommodation contract made at the time of such request.

(Conclusion of an Accommodation Contract, etc.)

- Article 3. An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when the hotel has duly accepted the application set forth in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the hotel has not accepted the application.
2. In the case where an accommodation contract has been concluded in accordance with the provision of the preceding Paragraph, the guest must pay an accommodation deposit fixed by the hotel within the limits of the basic accommodation fee covering the guest's entire period of stay (three days when the period of stay exceeds three days) by the date specified by the hotel.
3. The accommodation deposit shall be first used for the total accommodation fees to be paid by the guest, then secondly for the cancellation fee under Article 6, and thirdly for the compensation under Article 18 as applicable; the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the accommodation fee set forth in Article 12.
4. If the guest fails to pay the accommodation deposit by the date set forth in Paragraph 2, the accommodation contract shall become invalid. However the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the hotel at the time when the payment date of the accommodation deposit is specified.

(Special Provisions Requiring No Accommodation Deposit)

- Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the hotel may accept special provisions requiring no accommodation deposit set forth in the same Paragraph after the contract has been concluded.
2. In the case where the hotel has not requested payment of the accommodation deposit set forth in Paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the payment date of the accommodation deposit at the time when the application for an accommodation contract has been accepted, it shall be deemed that the hotel has accepted the special provisions set forth in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection prevention measures at the hotel facility)

Article 4-2. The hotel may request the cooperation of those who intend to stay at the hotel in accordance with Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The hotel may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases.

However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation is not based on the provisions of these Terms and Conditions
- (2) When the hotel is fully booked and there is no vacancy
- (3) When the person seeking accommodation is recognized to be likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation
- (4) When the person seeking accommodation is recognized to fall under any of the following (a) to (c)
  - (a) An organized crime group set forth in Article 2, Item (ii) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "organized crime group"), a member of an organized crime group set forth in Article 2, Item (vi) of the said Act (hereinafter referred to as an "organized crime group member"), a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces
  - (b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
  - (c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member
- (5) When the person seeking accommodation has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests
- (6) When a person who intends to stay at the hotel is a patient, etc., with a specific infectious disease as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "Patients, etc., with a specific infectious disease").
- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where a person who intends to stay at the hotel requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities [Act No. 65 of 2013; hereinafter referred to as the "Disabilities Discrimination Act"].)
- (8) When a person who intends to stay at the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.
- (9) When the hotel is unable to provide accommodation due to a natural disaster, a breakdown of the facilities, or other unavoidable reasons
- (10) When it is recognized that the person seeking accommodation is likely to significantly disturb other guests or users (In the case where the provision of Article 9 of the Toyonaka City Hotel Business Act Enforcement Ordinance applies)

(Explanation of refusal to conclude accommodation contract)

Article 5-2. In the event that the hotel refuses to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding article, the person who intends to stay at the hotel may request an explanation of the reasons for such refusal.

(Guest's Right to Cancel the Contract)

Article 6. The guest may cancel the accommodation contract by notifying the hotel.

2. If the guest cancels the accommodation contract, in whole or in part, for reasons attributable to the guest (except where the hotel has specified a payment date for the accommodation deposit and requested the payment of the accommodation deposit in accordance with the provision of Article 3, Paragraph 2, and the guest has canceled the accommodation contract prior to such payment), the hotel shall charge the guest the cancellation fee set forth in Attached Table 2. However, in the case where the hotel has accepted special provisions set forth in Paragraph 1 of Article 4, it shall be limited to the case where the hotel has notified the guest, upon the acceptance of such special provisions, of the obligation to pay a cancellation fee in the event of cancellation of the accommodation contract by the guest.
3. If the guest fails to arrive by 10:00 pm on the day of the stay (or 2 hours after the estimated time of arrival, if the estimated time of arrival has been specified in advance) without any contact, the hotel may treat the accommodation contract as having been canceled by the guest.

(The Hotel's Right to Cancel the Contract)

Article 7. The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the guest is recognized as likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation, or when the guest is recognized to have committed such an act
  - (2) When the guest is recognized as falling under any of the following (a) to (c)
    - (a) An organized crime group, an organized crime group member, a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces
    - (b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
    - (c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member
  - (3) When the guest has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests
  - (4) When a guest is a patient, etc., with a specific infectious disease
  - (5) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where the guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Disabilities Discrimination Act.)
  - (6) When a guest of the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.
  - (7) When it is unable to provide accommodation due to force majeure, such as natural disasters.
  - (8) When it is recognized that the guest is likely to significantly disturb other guests or users (In the case where the provision of Article 9 of the Toyonaka City Hotel Business Act Enforcement Ordinance applies)
  - (9) When smoking in bed in his/her hotel bedroom, tampers with fire-fighting equipment, etc., or otherwise failing to comply with the prohibitions (limited to those necessary for fire prevention) in the Rules of Use set forth by the hotel
2. When the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding Paragraph, the guest shall not be charged for any accommodation services that have not yet been provided to him/her.

(Explanation of cancellation of accommodation contract)

Article 7-2. In the event that the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Accommodation Registration)

Article 8. The guest shall register the following information at the front desk of the hotel on the day of his/her stay.

- (1) Guest's name, address and contact information
  - (2) For foreign nationals who do not have an address in Japan: nationality and passport number
  - (3) Other information deemed necessary by the hotel
2. If the guest intends to pay the fees under Article 12 by traveler's check, hotel voucher, credit card, or any other method which may be substituted for currency, the guest shall present them in advance at the time of registration set forth in the preceding Paragraph.

(Guest Rooms Available Hours)

Article 9. The time allowed for the guest to use the guest room of the hotel shall be from 2 pm to 11 am of the following morning. However, the room may be used for the whole day in the case where the guest stays more than one night consecutively, excluding the day of arrival and the day of departure.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the hotel may accept use of the guest room outside the hours specified in the preceding Paragraph. In such cases, the following additional charges shall be paid.
- (1) Up to 3 hours in excess: 1/3 of the room charge (or 30% of the amount equivalent to the room charge)
  - (2) Up to 6 hours in excess: 1/2 of the room charge (or 50% of the amount equivalent to the room charge)
  - (3) 6 hours or more in excess: Full amount of the room charge (or 100% of the amount equivalent to the room charge)

(Compliance with Rules of Use)

Article 10. Inside the hotel, the guest shall comply with the Rules of Use set forth by and posted in the hotel.

(Business Hours)

Article 11. The operating hours of the main facilities of the hotel shall be as follows, and detailed information on the operating hours of other facilities shall be available in the pamphlet provided, on notices posted in various places, in the service directory in the guest room, etc.

- (1) Service hours for the front desk cashier, etc.
  - a. Closing time
  - b. Front desk
  - c. Exchange services

- (2) Service hours for food and beverage (facilities)
    - a. Breakfast
    - b. Lunch
    - c. Dinner
    - d. Other food and beverages, etc.
  - (3) Hours of incidental service facilities
2. The hours in the preceding Paragraph may be changed temporarily if necessary or unavoidable. In such cases, notification will be given by appropriate means.

**(Payment of Charges)**

- Article 12. The details of the accommodation fee and other charges to be paid by the guest shall be as specified in Attached Table 1.
2. Payment of the accommodation fee and other charges set forth in the preceding Paragraph shall be made at the front desk at the time of the guest's departure or at the hotel's request, in currency or by any alternative method accepted by the hotel, such as traveler's check, hotel voucher, credit card, or the like.
  3. The accommodation fee must be paid even if the guest voluntarily decides not to stay in the room after the hotel has offered it to the guest and made it available for his/her use.

**(Liability of the Hotel)**

- Article 13. The hotel shall compensate the guest for any damage caused by its performance or non-performance of the accommodation contract and any contracts related thereto. However, it shall not apply if the damage is caused by reasons not attributable to the hotel.
2. The hotel is covered by hotel liability insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

**(Disclaimers)**

- Article 14. A user shall be held responsible for any computer communication (such as access to the Internet) he or she performs on the premises of the Hotel. The Hotel assumes no responsibility for any possible damage that may be incurred by the user as the result of use of the computer communication system (including slow down of communication speed and interruption of communication). In addition, Guest may be required to compensate the Hotel and a third party for any possible damage caused by acts deemed by the Hotel to be an inappropriate use of the computer communication system.

**(Handling in the Event That the Hotel Is Unable to Provide Contracted Guest Room)**

- Article 15. In the event that the hotel is unable to provide the guest with the contracted guest room, the hotel shall, with the guest's consent, arrange for another accommodation under the same conditions as far as possible.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, if the hotel is unable to find another accommodation, the hotel shall pay the guest compensation equivalent to the cancellation fee, which shall be applied to the amount of compensation for damage. However, no compensation shall be paid in the event that there is no reason attributable to the hotel for not being able to provide the guest room.

**(Handling of Deposited Items)**

- Article 16. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables deposited by the guest at the front desk, unless such loss, damage, etc. is caused by force majeure. However, in the event that the hotel requires the guest to disclose the type and value of the cash and valuables and the guest fails to do so, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen.
2. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables brought into the hotel by the guest that are not left at the front desk by an intentional or negligent act of the hotel. However, for those for which the guest has not disclosed the type and value in advance, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen, unless there is an intentional act or gross negligence on the part of the hotel.

**(Storage of Baggage or Personal Effects of Guests)**

- Article 17. In the case where the guest's baggage arrives at the hotel prior to his/her stay, the hotel shall take responsibility for its storage only when the hotel accepts it prior to its arrival and shall hand it over to the guest when he/she checks in at the front desk.
2. In the case where the guest's baggage or personal effects are left at the hotel after the guest has checked out and the owner is found, the hotel shall contact the owner and ask for his/her instructions. However, if there is no instructions from the owner or the owner remains unknown, it shall be stored for 7 days, including the date on which it was found, and be reported to the nearest police station thereafter.
  3. The responsibility of the hotel for the storage of the guest's baggage or personal effects in the case of the preceding two paragraphs shall be dealt with in the same manner as the provision of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 hereof and the provision of Paragraph 2 of the same Article in the case of the preceding Paragraph.

**(Responsibility for Parking)**

- Article 18. In the case where the guest uses the hotel's parking lot, the hotel rents the space only and shall assume no responsibility for managing the vehicle, regardless of whether or not the guest has deposited the car key. However, the hotel shall be responsible for any damage caused by its intentional act or negligence in the management of the parking lot.

**(Liability of the Guest)**

- Article 19. If the hotel suffers any damage due to an intentional act or negligence on the part of the guest, the guest shall compensate the hotel for such damage.

Attached Table 1: Breakdown of Accommodation Fees  
(related to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

		Breakdown
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation fee	① Basic accommodation fee (room charge) ② Service charge ( ① × 10%)
	Additional charge	③ Additional food and beverage (excluding those included in ①) ④ Service charge ( ③ × 10%)
	Taxes	(a) Consumption tax (b) Accommodation tax

Note 1: The basic accommodation fee shall be based on the table of charges posted on front desk.

Attached Table 2: Cancellation Fees  
(related to Article 6, Paragraph 2)---for the hotel

Number of persons applying for the contract	Date on which the notice of contract cancellation is received	No show	Accommodation Day	1 day prior to accommodation day	9 day prior to accommodation day	20 day prior to accommodation day
		Individual	1 to 7	1 0 0 %	8 0 %	2 0 %
Group	8 to 9 9	1 0 0 %	8 0 %	2 0 %	1 0 %	—
	1 0 0 or more	1 0 0 %	1 0 0 %	8 0 %	2 0 %	1 0 %

- (Note) 1. % is the ratio of the cancellation fee to the basic accommodation fee.
2. If the contracted number of days is shortened, a cancellation fee for one day (the first day) shall be charged regardless of the number of days shortened.
  3. In the event of cancellation of the contract for part of a group of guests (8 or more), a cancellation fee equivalent to 10% of the number of guests staying at the hotel 10 days prior to the date of stay (or the date of acceptance if the application is accepted after that date) (any fractional number shall be rounded up to the nearest whole number) shall not be charged.

**USE REGULATIONS**

To maintain the generality and reliability of the hotel and to assure you a pleasant stay, the Guests of this hotel are requested to observe the following rules in accordance with the "Terms and conditions for Accommodation Contracts, Article 10."

In the case one of these rules is violated by a certain Guest his or her stay and/or utilization of restaurants etc. may be discontinued and also be claimed for responsibility, in accordance with the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts, Article 7 and 17."

**(FOR FIRE PREVENTION PURPOSE)**

- (1) Do not use any burner in the room, lobby or the hall.
- (2) All guest rooms of the hotel are non-smoking. Please refrain from smoking anywhere other than designated areas within the building (including smoking with electronic cigarettes, heated tobacco products, etc.). If it becomes clear that smoking has occurred in the guest room (including smoking with electronic cigarettes, heated tobacco products, etc.) such as when the smell of tobacco is detected in the room, we will charge a fee of 30,000 yen for deodorization and cleaning and repair of the bedding, curtains, wallpaper, etc.
- (3) Be careful not to do anything apt to become causes of fire.

**(FOR SECURITY PURPOSE)**

- (4) When leaving the room, make sure the door is closed firmly. Please leave your room key when you go out of the hotel.
- (5) Show your Guest's card when getting your room key.
- (6) Be sure to turn the door-look and set the safety chain after entering your room or before going to bed. Confirm your visitor through the door-scope before opening the door. Immediately contact the front desk in case of any doubtful matters.
- (7) Visitors are not enter the hotel rooms. Entertain your visitors in the lobby.

**(SETTLEMENT OF ACCOUNTS)**

- (8) You may be requested for a deposit at the time of check-in.
- (9) Settle your accounts each time a bill of statement is delivered to you.
- (10) A handling fee will be added to your outgoing telephone calls.

**(HANDLING OF VALUABLES AND CHECKED ARTICLES)**

- (11) Guests are requested to deposit their cash and/or valuables which are available at the front desk.
- (12) Belongings left behind or lost will be handled according to the law.
- (13) Belongings checked or left behind will be kept only for the period as follows:  
Belongings left at the cloak room... 7 days  
Laundries ..... 6 months

**(REFRAIN FROM THE FOLLOWINGS)**

- (14) To bring the followings into the room, lobby or the hall
  - (a) Animals, birds, etc. (except guide dogs)
  - (b) Things unclean or with loathsome smell.
  - (c) Goods of great quantity.
  - (d) Explosive items such as powder, gasoline, etc.
  - (e) Illegally owned guns and swords.
- (15) To gamble or behave in a demoralizing manner in this hotel.
- (16) To give annoyance to the others by making a great noise or disgusting behaviors and turn the television or radio volume high, etc.
- (17) To use the furnitures and fixtures in the room, lobby or the hall for the purpose other than the original object.
- (18) To fix other items to the room or the furnitures, or work up to alter those existing situations.
- (19) To display goods by the window that may spoil the outside view of the hotel.
- (20) To use the room or the lobby as business offices, etc., contrary to lodging purpose.
- (21) To deliver advertising material or sell goods to other guests in this hotel
- (22) To bring visitors into the room and let them use the furnitures and fixtures.
- (23) To leave your belongings in the hall or the lobby.
- (24) To order meals or drinks which must be delivered from outside of the hotel.